

5
月



美園小だより

令和 7年4月30日

さいたま市立美園小学校

第178号 児童数 1045名

Tel 048(812)6611

Fax 048(878)6660

さいたま市民の日に向けて

校長 河野 秀樹



<若田飛行士の5つのワッペン>

5月1日は「さいたま市民の日」で、学校はお休みになります。この機会に、さいたま市について様々な資料や施設で魅力を発見できるとよいのではないのでしょうか。

さいたま市出身で活躍している方はたくさんいますが、北区出身の若田光一宇宙飛行士は特に有名です。令和4年10月に5回目の宇宙のミッションに出発しました。国際宇宙ステーション (ISS) 滞在中には、将来の月や火星探査を想定した低重力環境での液体の動きに関する実験などに取り組みました。現在、大西卓哉飛行士がISSの船長として活躍していますが、初めて船長を務めた日本人が若田さんでした。

若田さんは幼いころから飛行機や宇宙に憧れていて、小学生のときはテストの問題を解き終わると、問題用紙の裏によく飛行機やアポロ11号の絵を描いていたそうです。また、大きくなったら英語が必要になりそうだと英語に興味をもち、中学2年生の夏休みにはアメリカでホームステイをしたそうです。もう一つ夢中になっていたのが野球で、小学4年生の時にリトルリーグに入り、高校でも野球部に所属し、そこで「チームワーク」「集中力」「洞察力」などを学んだそうです。

若田さんの母親は著書で、『子どもたちには5歳までに「好き嫌いなく何でも食べる。特に朝食はしっかり食べる」「悪いことをしたら素直に謝る」「挨拶をしっかりする」「お金を大切に使う」などの、生きていく上で必要な基本的なことはしつけ、それからはあまり干渉しないようにしました。(中略) その理由は、何事も自分自身で考えさせて、子どもの自立心を育てたいという考えからです。』と記しています。

若田さんがすごいのは輝かしいキャリアだけでなく、いつも笑顔で、常に物事を大きく捉え、その中で自分に何ができるか考えるところです。また、変化に対しても柔軟で、一所懸命に努力しているところも素晴らしいと思います。このような人間性が世界で認められていることは、同じ日本人として本当に誇らしく、私たちは若田さんから学ぶことがたくさんあると思います。

若田さんが名誉館長を務めている「さいたま市青少年宇宙科学館」には、若田さんのコーナーがあります。宇宙服などのほかにも、小学校時代のロケットや飛行機の絵、図工の作品、書きぞめなどが展示されています。足を延ばしてみてはいかがでしょうか。